

寝る前に火の用心と戸締まりを！

令和7年度最後の「キラッと光る毎月の火災分析」は
キラッキラとなりました！
 火災予防にご協力いただき、ありがとうございました。
 引き続き、令和8年度も火の用心をよろしくお願いします！

令和8年2月中の火災分析 予防部予防課より

- ・2月中に発生した火災は32件で、前年同月と比較して4件の増加でした。
- ・主な火災原因は、放火（疑い含む）が14件、たばこ、天ぷらなべが各3件、暖房器具、電気機器、たき火、無煙ロースターが各2件などでした。
- ・建物火災が14件発生し、住宅で6件、飲食店で5件などでした。

火災原因別

	放火 (疑い含む)	たばこ	天ぷら なべ	暖房 器具	電気 機器	たき火	無煙 ロースター	その他	計
件数	14	3	3	2	2	2	2	4	32

行政区別

	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	計
件数	2	3	2	1	0	8	2	1	6	3	4	32

【トピックス】放火火災を防止するために次のことに取り組みましょう！

放火による火災は昭和51年から平成27年まで連続して火災原因の1位でした。
 近年も火災原因の上位で、令和4年からは3年連続で増加しています！

- ・建物の周りなどに、燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- ・物置や空き家にはしっかり鍵を掛けて、不審者の侵入を防ぎましょう。
- ・夜間には屋外の照明を点灯するなど、明るくしましょう。
- ・センサーライト、防犯カメラ、炎センサーなど、放火防止に有効な機器を設置しましょう。
- ・車やバイクのボディカバーは防災品を使うなど、様々な放火防止対策をしましょう。



●ここが危ない放火危険ポイント



戸建住宅の場合

アパート・マンションの場合

